

2025.2.1

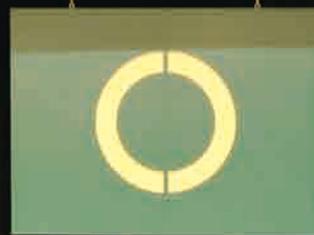
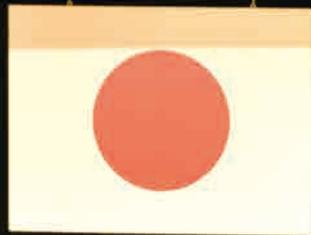
第172号



[町制施行70周年記念ロゴマーク]

○いたくら 議会だより

祝 板倉町二十歳のつどい



今月の主な内容

- 12月定例会・議案審議 P.2
- 一般質問(7人) P.5
- 視察研修レポート・第1回臨時会・議会日誌 P.12
- みんなの声・編集委員の声 P.14

板倉町議会ホームページへ

QRコードを読み込むと
議会ホームページが開けます



専決処分事項3議案を承認 一般会計・特別会計の補正予算を可決 一般質問に7人の議員が登壇

承認議案

令和6年第4回定例会が、12月10日(火)から12月13日(金)までの4日間の日程で開催されました。今回の定例会では、専決処分事項の承認議案3件(条例2件、補正予算1件)、令和6年度補正予算議案3件(一般会計、後期高齢者医療特別会計、国民健康保険特別会計)の合計6議案を審議、可決しました。

◆専決処分事項の承認について(板倉町国民健康保

険条例の一部を改正する
条例及び板倉町福祉医療
費の支給に関する条例の
一部を改正する条例)

本2議案は、令和5年に公布されました「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律(令和5年法律第48号)」により、令和6年12月2日から被保険者証が廃止されることに伴い、板倉町国民健康保険条例及び板倉町福祉医療費の支給に関する条例を改正する必要が生じたため、地方自治法の規定により、令和6年11

月15日付けで専決処分を行なったものです。

問 荒井議員

12月2日からマイナンバーカードの保険証利用システムに移行し、従来の保険証が廃止となるが、マイナンバーカードを持っていない人、あるいは保険証とひもづけていない人は、現在の保険証が来年の7月31日まで使えるので、そういう方には有効期限前に資格確認書を交付するわけであるが、その有効期限はどうなっているのか。

答 健康介護課長

資格確認書の有効期限は、これまでの保険証と同様8月1日から1年間とし、そ

の先もさらに1年間延長する予定ですが、国、県の動向が変更次第、町もなっついていきたいと思えます。



◆専決処分事項の承認について(令和6年度板倉町一般会計補正予算(第5号))

本補正予算は、第5回目の補正予算で、歳入歳出予算にそれぞれ1,027万3千円を追加

し、歳入歳出予算の総額を62億6,731万6千円とするものです。今回の補正は、衆議院議員総選挙実施の経費であり、早急な対応を要するため、専決処分としたものです。

補正予算審査

初日の本会議終了後、予算決算常任委員会を開催し、補正予算関係3議案の審査を行いました。

議案第36号 令和6年度板倉町一般会計補正予算(第6号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2億6,127万9千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ65億2,859万5千

答
福祉課長

歳出の介護給付費訓練等給付費等2,829万8千円の追加について、利用者が増えたという認識でよろしいのか。

問
青木文雄委員

円とするものです。



増額の理由については、大きく2つあります。1つは、利用者の増加に伴ったもの、2つ目は、3年に1度の国が定める障害福祉サービス等の報酬が見直され、今年は6月に改定があり、その影響を受けたことによるものです。

問
延山委員

歳出の街路樹管理委託料から200万円を減額し、安全施設工事に同額を追加しているが、予算の組み替えをする理由を伺いたい。

答
都市建設課長

区画線の工事等で、500万円を当初予算で見込んでおりましたが、町内で区画線が消えている箇所が多々ありますので、ほかの事業の見通しが立ちましたことから、そちらの工事を急ぎたいということで、予算を組み替えさせていただきました。



区画線が消えかけた道路

問
藪之本委員

歳入のピアノ販売代金

25万円の追加について、説明いただきたい。

答
教育委員会事務局長

今回の補正は、各施設のピアノを有効活用するため、専門業者に見ていただいたところ、南部公民館、東部公民館及びわたらせ自然館のピアノよりも旧北小、旧南小のピアノのほうが新しく音色もよいことがわかり、入替えを予定しました。それに伴い、前述の3館と旧北小体育館のピアノ計4台を販売する補正予算を組みました。

問
荒井委員

歳入のピアノ販売代金25万円の追加について、ピアノは税金で購入した公有財産であるのだから、公売で販売する予定はないのか。

答
教育委員会事務局長

全てのピアノが50年以上経過しており、音も保証できません。もう少し程度のいいピアノでしたら、町民の皆様にといい考えもありましたが、今回は業者に販

売をしたいと考えています。



南部公民館のグランドピアノ

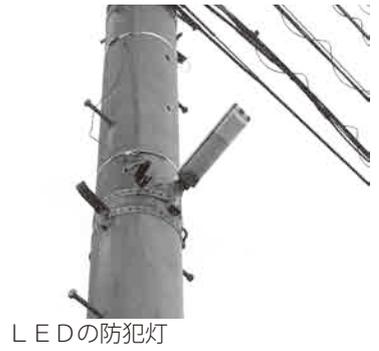
問
須藤委員

歳出の防犯施設整備事業修繕料118万8千円の追加について、どのような修繕をしているのか。

答
総務課長

内容はLEDの防犯灯の修繕費です。当初予算では40基を想定していましたが、通学路等の点検を行ったところ、60基が点灯していないということで、年間で80基を想定して9月に補正をしました。このたび行政区等々からの情報提供、また職員が見回りをしたところ、25基ほど点灯しておらず、今後おそらく消えるところが出てくる想定で、合計120基分の予算とし、

その差額分を補正させていただきます。



問
亀井委員

後期高齢者医療特別会計繰出金（保険基盤安定分）139万円の減額について、減額の理由を伺いたい。

答
健康介護課長

群馬県後期高齢者医療広域連合への繰入額の確定による補正です。予定していたよりも少なかったことによる減額です。

問
小林委員

歳出の公園維持管理事業1,250万円の組み替えについて、中央公園の池のしゅんせつ工事をするといいことであるが、どのような方法でやっていくのか。

答
都市建設課長

しゅんせつ工場のやり方ですが、建設発生土という解釈の下、堆積土の草刈り、掘り上げて、乾かして、通常の泥として運搬をして、町の堆積場で処理したいという考えです。



しゅんせつ工事予定の中央公園の池

問
尾澤委員

歳出の子育てのための施設等利用給付事業16万4千円の追加について、事業の内容を伺いたい。

答
福祉課長

幼稚園を利用している子供の保護者の都合で、延長預かりをする場合に補助を支援する事業で、通常であれば基本4時間、おおむね10時から2時くらいまでお

預かりをしますが、保護者の都合により3時まで、あるいは4時まで預かってほしいといったケースがあった場合に、必要が認められる場合に限り、その分の補助を支援する事業です。

問
市川委員

歳出の有害鳥獣駆除事業29万3千円の追加について、町ではイノシシの被害が多発しているのか。

答
産業振興課長

イノシシの被害ですが、農家の方が指をかまれたという被害が1件ありました。が発見事例のほうが多く、現在箱わな2基を海老瀬と西岡に設置しています。それでも発見事例がありましたので、さらに5基購入したいということで追加補正するものです。

問
藪之本委員

歳出の有害鳥獣駆除事業29万3千円の追加について、箱わなの追加を予定しているようであるが、実際にイノシシは捕獲されているのか。また、捕獲した後、ど

のようにしているのか。

答
産業振興課長

今年（令和6年）の5月に海老瀬で1頭捕獲されました。その後も設置して餌を定期的に入れ替えています。5月に捕獲したイノシシにつきましては、猟友会のご協力で駆除しまして、その後、焼却処分ということで処理をしました。



昨年5月に捕獲されたイノシシ

問
延山委員

歳出の農業経営力向上事業補助金200万円の追加について、どのような申請があったのか。また、今年度は何件の申請があり、全て審査を通っているのか。

答
産業振興課長

今回の申請ですが、大型トラクター100馬力のものを1台購入したいということ、事業費が1,400万円程度の購入費という内容です。また、今年度の申請数ですが、今回のトラクターを含めて4件で、全て通っています。

議案第37号 令和6年度板倉町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
歳入歳出予算に歳入歳出それぞれ1,415万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ2億4,184万6千円とするものです。

議案第38号 令和6年度板倉町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
歳入歳出予算に歳入歳出それぞれ4,450万9千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ20億3,343万6千円とするものです。

◆なお、補正予算については、12月11日の本会議において全会一致で原案どおり可決となりました。

一般質問

議会 2 日目 12月11日(水)



森田 義昭 議員

新町長の町づくりについて

新町長、ご当選おめでとうございます。

問：無投票であったが、町の皆様が受け入れたというふう感じているのか。

答：町長 今まで新町長が誕生するときには必ず選挙が行われていたと思っっている。どれだけの批判というか、反対の人がいるのか理解できるといふ点では、選挙があつてしかるべきだし、そうなるものだと思つていた。今回無投票での当選については、私以外、誰も手を挙げなかった。もしかしたら小野田でいいや

問：板倉町をどうしたいのか。

答：町長 一言で言つのであれば、町民皆様の幸福度の高い町にしていきたい。これが理想である。人それぞれ何について幸せを感じるかは千差万別、十人十色である。例えば大きな商業施設や図書館がある、すてきな公園があ

る、だからいい町だと心の中で思つている方も多くいると思うが、東西南北どの地域においても、どの世代においても満足度の高い町を目指していきたい。そういう町になるために自分がリーダーシップを取つて町を引っ張つていく。重い責任を負つたという認識を



小野田富康 町長

しているので頑張つていく。そういう気持ちである。

問：当町の避難訓練の参加が少ないのでは。

答：総務課長 今年の9月の避難訓練では、避難計画において4、

195世帯に対して参加世帯が931世帯、参加率は22.2%であつた。昨年の訓練と比較をすると、世帯数では138世帯の減、参加率では3.3%の減少という結果ではあるが、この結果は昨年と今年の訓練の参加世帯の確認方法に違いがあるといふことでの差異と判断している。昨年、本年いずれも20%

を超えている参加率、近隣の自治体の訓練実績と比較しても決して低くはなく、関係機関からも、板倉町の参加率は高いと評価もいただいているが、もう少し町としては高い参加率を目指していきたいと考えている。引き続き、各地域における防災講習会の開催等を通して、住民皆様の防災意識の醸成を図りつつ、避難訓練の実施時期、また実施の方法等について、今後さらに検討を進めていきたいと考えている。



令和6年度避難訓練の様子

一般質問

議会 2日目 12月11日(水)



尾澤 将樹 議員

QRコードを使用した老人見守り
ネットワークの活用について
旧南小の利活用について
GHPエアコンの導入について

認知症患者への町の対応
について

問：自宅にて認知症患者が
行方不明になった場合
の町の対応は。

答：健康介護課長 町に相
談があった場合は、ご
親族のご意向に沿いな
がら、町が把握してい
るご本人様の心身の状
況や行動範囲を確認し
ていく。また、警察や
消防への捜索依頼があ
れば、情報を共有して、
早期発見への支援をし
ていく。

問：QRコードを使用した
老人見守りネットワー
クをどう考えているの
か。

答：健康介護課長 スマ
ー



QRコードを使用した身元確認

トフォンの普及により
開発されたサービス
で、QRコードをシー
ルにして、本人の服や
持ち物に貼り付けて、
QRコードを読み取る
と事前登録された連絡
先に情報が届く仕組み
になっている。しかし、
実際に活用できるかが、
大きな課題となる。

答：町長 もし服にシー
ル

が貼ってあったときに、
人にかざして写真を撮
るといふ行為が実際に
できるのかどうか。認
知症の方本人に理解を
していたら進めて
いかなければならな
い。

問：旧南小の利活用につ
いて

答：旧南小の利活用の方
せととなっている市街
化調整区域とは何か。

答：都市建設課長 昭和52
年、都市計画が群馬県
で決定され、開発を抑
制している区域とい
うことになる。

問：小学校を使用する際
は

答：小学校を使用する際
は、許可を取って、何
かに使用するつもりは、



旧南小学校

あるのか。

答：町長 教育機関関係以
外ではなかなか貸し出
すのが難しいという部
分がある。また、旧北
小については、地域の
拠点として集まれるサ
ロンのような、そう
いったものができれば
いいのかと考えてい
る。

答：総務課長

群馬県より
避難所となる体育館の
空調設備の整備の加速
化の連絡が来た。東、
西の小学校の体育館へ
の導入を早急に検討し
たいと思う。

問：教育委員会事務局長

エアコンの導入は計画
に入っていないが、町
長の指示により、今後
の導入に向け、ガス式
及び電気式のメリット
またはデメリットにつ
いて、補助事業等も含
めたより詳細な情報を
収集して、最終的な導
入方式を早急に検討す
る。

問：現在、エアコンの入
っていない小学校体育館、
避難所などにGHPを
導入してはどうか。

答：GHP（ガスヒートポン
プ）エアコンの導入は

一般質問

議会 2 日目 12月11日(水)



須藤 稔 議員

県道の通学路の除草状況は 文化財資料館のトイレ状況は 民族研究会の灯籠流しは 避難所の太陽光発電と蓄電は

中学生の通学路（県道）
除草について

問：県道海老瀬～館林線
の路肩は、季節により雑
草が倒れると、自転車
通学に危険を及ぼすが、
雑草対策をどう考えて
いるのか。

答：都市建設課長 県道の
除草は町道よりも若干
少ない回数が設定され、
多少不便をかけている。
町からは絶えず県に要
請を行っている。

答：教育委員会事務局長
通学路の安全点検は
行っているが、その時
点で危険箇所の改善は
原因のところをお願い
している。基本的には
県に早急な除草作業は

建設課を通じてお願い
をしている。

問：歩道、植栽帯の管理に
ついて

答：都市建設課長 県道で
植栽帯の管理が出来な
いところは、今後は植
栽のあり方を県と議論
をしていかなければな
らない。

文化財資料館の来館用ト
イレについて

問：トイレが保育園当時の
ままで使用しにくい
が、どう考えているのか。

答：教育委員会事務局長
現状は使いやすいとは
言えない状況である。
来館者の利便性と予算
を考慮し、構造に無理
のない範囲で改修を検

討していきたい。



文化財資料館のトイレ

灯籠流しについて

問：民族研究会が取り組ん
でいる灯籠流し、町と
しての協力をどう考え
ているのか。

答：教育委員会事務局長
宗教的な要素があるこ
とから、2年前から関
与はしていないが、今
後については、板倉町

の観光事業として活用
できるようであれば町
としても、観光面で協
力の検討をしていき
たい考えである。千代田
町の「川せがき」は、
観光事業としての活用
だと思ふ。



灯籠流し

太陽光発電蓄電について

問：避難所の太陽光発電や
蓄電池導入は、何年度

くらいの目標なのか。

答：総務課長 緊急避難所
での設置は、避難ス
ペースに余裕がない状
況のため、今後拡充が
出来たときに財政状況
を十分に確認した上で
検討をしたい。

答：町長 進めている場所
もあったが、相手様の
都合もあるので、しっ
かりと見据えながら、
決められるものと決め
られない部分があるが、
公約なので、これから
はスピーディに取り組
んでいく。

一般質問

議会 2日目 12月11日(水)



青木 秀夫 議員

新体制下の喫緊の課題は
群馬県との「関係修復」
「関係改善」が必須

群馬県との良好な関係構築を

えないが、諸問題を突破するように頑張っていきたい。

意見

…全国の出生数70万人割れ、群馬県9千人割れ、板倉町30人割れ、少子化は、深刻である。20年後の社会は、神のみぞ知るである。活性化対策は、急務であるが、群馬県と連携して、大規模指定既存集落制度を規制緩和し運用するのの一つである。

まちづくり構想について

問：町長選の公約にある工業団地造成構想、その規模、完成時期、税收効果予測について伺いたい。

答：町長 規模については、20ヘクタール程度。完成時期については、県との調整だけでも5年近く、その後の用地買収、造成工事で早くても10年後である。税金が入ってくるのは、早くして15年20年後になると想定している。

20年先の社会は不透明、今できることを急がねば！

問：現状の人口減少スピードを踏まえると20年後

答：町長 そのような制度は、知らせるべきであると思ふ。

大規模指定既存集落制度の活用は規制緩和で

問：大規模指定既存集落」については、都市計画法、群馬県の許認可基準等、いくつもの規則を越えなければならぬハードルがあると思ふ。町の活性化には、遊休地の活用等の規制緩和が必要である。例えば、住民から許可申請がでた場合には、ま

答：町長 議員の指摘のとおりであると思ふ。できない理由を探すのではなく、できる理由を探して前に進めることが必要である。事を前に進めるためには、難しいけれど難しいなりに突破する方法、どうすればできるかという理由を探していくべきであると思っている。ただ、この場でグレーなことをやりますとは言



一般質問

議会 2 日目 12月11日(水)



亀井 伝吉 議員

若年世代の流出を防ぐ対策を 交通弱者の医療機関への 通院支援の検討を 農地の荒廃防止策の進捗状況は

定住対策について

問：町内在住の若年者の住宅取得に支援の検討を。

答：企画財政課長 移住者の住宅取得支援は、都市建設課で最大30万円。産業振興課でニュータウン内土地購入70万円。東京23区在住と東京圏からの勤務者に、2人以上世帯100万円、単身者60万円の支援。企画財政課で町内在住者が町内業者でリフォームした場合に、限度額10万円の板倉町商工会の商品券で助成を実施。本町では、住宅支援だけでなく、小中学校給食費無料、奨



若者世代の流出対策として

問：アパートの世帯向け改

学金返還支援等近隣自治体でやっていない特色ある施策も実施しているため、郡内の状況や財政面等総合的にバランスを見ながら検討していく。結婚祝金については、7年度より実施できるよう進めている。

築費用の支援ができませんか。

答：企画財政課長 民間の施設に対し公費投入は、町民の理解を得られたい。公営住宅等の利用を検討していただきたい。

交通弱者支援対策について

問：医療機関を巡回する、バスの運行ができないか。

答：総務課長 現在、館林厚生病院への通院は、公共路線バス館林板倉線+シャトルバスで可能。慶友整形外科や町内外一部の医療への通院も、路線バスやコミュニティバスで

可能であり、通院先が多岐になり多額の費用がかかり効果が見られない。コミュニティバス等でカバーできないエリアは、福祉タクシー券の利用を推進したい。令和5年に、心身障がい、交通弱者の方141名、免許返納の方29名にタクシー券を交付。利用率は114名で、利用率は約35%にとどまっている。



る。一回の利用制限を二千円とか、利用しやすい制度に変更する事が巡回バスの検討より先と考えている。

問：デマンドタクシー導入の検討は出来ないか。

答：総務課長 デマンド型乗合タクシーは、事前の利用者登録・事前予約や乗合への抵抗感、輸送コスト高や交通事業者との競合への懸念等課題があり、実現は容易ではない。コミュニティバスとの利便性向上、福祉タクシー料金の支援事業の利用促進、移動販売事業の拡充等交通弱者への取組の強化を図って行く。

農地の荒廃化防止対策について

問：農地の貸し借りのマッチングは、スムーズなのか。

答：産業振興課長 農地中間管理事業により、令和4年度57ヘクタール、5年度33ヘクタールで順調に進んでいると捉えている。

一般質問

議会 3日目 12月12日(木)



藪之本 佳奈子 議員

新町長の考えとは？
「公民館にあつまろう」って
楽しいの？（参加者がワクワク
する事業展開を）

公約について

問：役場内の風通しを良くしたいと考えているようだが、どのような課題があると考えているのか。

答：町長 町長になる前に感じたことだが、職員の仕事が良くなかったり、活気がないような気がしたので、職員が働きやすい環境づくりができればと座談会で話をしていた。

問：住民の声をどのように政策に反映していくのか。

答：町長 町政懇談会やタウンミーティングなどを設けていく。

問：「チャレンジしたいこと」

に公園の充実としてみんなが集まれる憩いの場の提供、保育園と児童館をセットでの開発も研究とあるが、今後どのように進めていくのか。

答：町長 保育園と児童館の場所が建設検討委員会の中で決定をしたので、セットでの開発は考えていない。

問：選挙公約の中でも特に優先順位の高い課題は何か。

答：町長 産業促進、教育、子育て等、町が単独でできるものは来年度予算に振り分けて進めていく。

問：東洋大学の跡地問題ではどのように考えているのか。



答：町長 固定資産税がかかる土地と認識している。

問：県議会の一般質問で、東洋大学板倉キャンパス跡地利用に関する県の考え方で、知事の答弁に地域が望む形での利用が図られるべきとあるが、町はどのように考えているのか。

答：町長 東洋大学が出してきた意見を検討して

進めていく。

問：板倉町として暫定的短期利用の提案は考えているか。

答：町長 東洋大学からの提案があれば検討していく。

「公民館にあつまろう」についで

問：現在の参加状況はどうか。

答：教育委員会事務局長 14事業あるうち、7事業については定員を超えている。

問：新たに取組みまれたことは何か。

答：教育委員会事務局長 昨年度からeスポーツを始め、定員を大きく上回った。



問：申し込み方法が紙ベースで、長期間先までの予約をするとなると、保護者が把握しないうちに締め切りになったり、急なキャンセルが出てしまうのではないだろうか。オンラインでの申し込みや小分けにした申し込み方法を検討してはどうか。

答：教育委員会事務局長 児童のタブレットが活用できないか検討している。キャンセルの心配よりも、予約申し込み時に予定がなく、参加したいと思えば、是非とも予約してほしい。

問：千代田町でも活用されているチャレンジ手帳の検討はどうか。

答：教育委員会事務局長 研究を重ね、検討していく。

一般質問

議会 3 日目 12月12日(木)



永田 亮 議員

農業施設・機具等の盗難被害の深刻化に伴う防犯体制強化と今後の対策方針について

メラを県境付近に増設し、犯罪抑止を強化している。

今後の防犯体制強化について

問：新たな補助制度を含む強化策は。

答：総務課長 警察・消防団と連携した警戒強化に加え、犯罪の巧妙化に対応するため、家庭用防犯カメラ等への補助事業を事例の研究から行ってまいりたい。

問：直近3年間の農作物・農機具の盗難事案の発生件数と推移について。

答：産業振興課長 農業地域の盗難被害について農協では個別案件として発生件数を把握していない。館林警察署管内では今年11月に農機具盗難が数件発生したが、過去2年間は被害が少なかった。

問：産業振興課長 農機具の被害は作業効率の低下を招き、修理・購入費用の負担が発生する。さらに精神的影響から営農意欲の低下も懸念される。

答：産業振興課長 農機具の被害は作業効率の低下を招き、修理・購入費用の負担が発生する。さらに精神的影響から営農意欲の低下も懸念される。

問：警察との連携状況、パトロール体制についてどのような取り組みを実施されているか。

答：産業振興課長 館林警察署では従来からパトロールを実施しており、11月の盗難被害多発を受け、刑事課へ一層の強化を依頼した。さらに農業委員会及び農地利用最適化推進委員も作業時に合わせて日常的な農地パトロールを実施している。12月には警察との情報共有を進め、連携を強化している。

問：JAや地域の農業者団体との防犯に関する取り組み状況は。

答：産業振興課長 町とJAが盗難被害に関する情報共有を強化した。

問：現行の防犯体制に対する課題はあるのか。

答：総務課長 重要な課題として、巧妙化する犯罪への対応が挙げられる。県境に位置する地理的条件から他県からの出入りが容易という脆弱性があり、これに対応するために防犯力

問：現行の防犯体制に対する課題はあるのか。

答：総務課長 重要な課題として、巧妙化する犯罪への対応が挙げられる。県境に位置する地理的条件から他県からの出入りが容易という脆弱性があり、これに対応するために防犯力

問：農家の経営にどの程度の影響を与えているか。

答：産業振興課長 農機具盗難が数件発生したが、過去2年間は被害が少なかった。



農業用ポンプ

視察研修レポート

常任委員会合同視察研修

- 令和6年11月19日(火)~20日(水)
- 茨城県鉾田市・福島県いわき市

よりよい板倉町を目指して、先進地に学ぶ

産業／建設／生活

野菜日本一の鉾田市の農業振興の取り組み

鉾田市の農業は消費地の首都東京から90キロ圏という地理的条件を活かして、大型補助事業の積極的な導入と農業近代化施設の整備等によって生産機能が強化され、施設園芸を中心に発展してきたそうです。しかし、就業構造の変化によって農業従事者の減少や高齢化が進み、耕作放棄地も点在するようになっています。農業の維持発展を図るため、農村集落の居住環境の整備を進めつつ優良農地の確保と生産基盤の整備、農地の流動化の推進と農業生産の組織化、担い手の育成・確保。競争力のあ

る高付加価値、低コスト農業の確立等を、柱にして推進しているとのこと。鉾田市の農業経営体ですが、3千弱からここ10年間で26%減少し、団体は14団体から53団体に増加。経営耕地面積の経営体は、1〜2ヘクタールが29%、2〜3ヘクタールが21%、3〜5ヘクタールが15%、5〜30ヘクタール以上は11%、農産物販売金額規模別経営体数は、500万未満が35%、500〜1千万が14%、1〜3千万が26%、3〜5千万が11%、5千〜3億以上が11%で、3千万以上の経営体が1.7倍に増えていきます。品目では、作付面積でメロン13%、かんしょ60%で、産出額がメロン75億、かんしょ154億円となっていて、野菜部門全国1位であります。新規就農者支援、農業後継者支援、生産者の所得向上のための支援と様々な施策を行っています。親元就農やUターン就農者が多数おり、肥沃な農地を遊ばせておいてはもったいないと、空き農地の取り合いになっている程とのことでした。

産業建設生活常任委員長 亀井伝吉記

総務／文教／福祉

保育園の一園化に向けて

今年度も昨年度に引き続き、保育所を研修してきました。今回は新潟県燕市、今回は福島県いわき市です。当町も近々に保育園の建設計画があり、先進地を参考にしたいからです。いわき市立内郷保育所は今年の4月に開園しました。門を入ると真新しい玄関、広々とした間に計画された園児たちの教室が並んでいます。玄関とは別にこの園の特徴でもある子育て支援センターが併設しています。そして、それぞれの施設にない機能を補完し、両施設を利用する保護者の意見や要望を反映させることができ、利用者の利便性を向上させることにもつながっています。まだ新しいため、これと言えるような課題は今のところないということです。が、当町の保育園建設の参考になればと考えています。これから少子化が進み、二つある



保育園の合併から進んでいるのですが、やはり、児童館も含め、新しい場所へ新築という案が主流になってきています。令和7年には建設委員会が立ち上げられます。問題点については今まで十二分に話し合いがなされました。会議のメンバーには、現場の先生をはじめ、父母の代表、行政区の代表とあらゆる方々から、色々な意見が出され、それぞれを尊重しつつまとめ上げた次第です。これからのような保育園ができあがるのか、楽しみの一つかと思っています。

総務文教福祉常任委員長 森田義昭記

議 会 日 誌

11月

- 22日 全員協議会／議員のみ協議会
- 27日 議会運営委員会

12月

- 10～13日 12月定例会（本会議、一般質問、各常任委員会）
全員協議会／議員のみ協議会／議会広報特別委員会
- 26日 加須・板倉利根川新橋建設促進協議会
埼玉県要望（埼玉県庁）

1月

- 10日 議会広報特別委員会
- 21日 全員協議会／議会運営委員会／第1回臨時会／議員のみ協議会
- 31日 東毛広域幹線道路協議会 要望活動（群馬県庁）

令和6年11月 板倉町議会議員補欠選挙 新しい議員を紹介します

■1期 ■板倉に、あたらしい風を



ながた りょう
永田 亮

なお、永田議員は、産業建設生活常任委員会、予算決算常任委員会、ニュータウン対策特別委員会、議会広報特別委員会の各委員に選任されました。

議席 1番 **年齢** 47歳
住所 大字初谷 **職業** 農業
趣味 スポーツ観戦、読書
抱負 地域の皆さまの声に真摯に耳を傾け、確かな行動で町の課題を解決します。活力と希望に満ちた板倉町の未来を、共に創り上げてまいります。

お知らせ
令和6年度議会報告会（懇談会）は行いません。

第1回臨時議会 執行部上程議案

令和7年1月21日に開かれた臨時会では、町長から提出された6議案を全会一致で原案可決しました。

議 決 議 案

◆板倉町職員の給与に関する条例及び板倉町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

本案は、令和6年8月8日付けの人事院勧告及び令和6年10月9日付けの群馬県人事委員会勧告に鑑み、本町も、「一般職の常勤職員の給料月額、期末手当及び勤勉手当の支給月数」と「会計年度任用職員の給料月額及び期末手当の支給月数」を改定するため、所要の改正を行うものです。

補正予算議案

◆令和6年度板倉町一般会計補正予算（第7号）について

歳入歳出予算の総額に

歳入歳出それぞれ3億5,096万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ68億7,955万7千円とするものです。

問 青木秀夫議員

職員給与改定について、令和6年4月1日から遡って引き上げることだが、予算ベースでは一般職員が1千万円、会計年度任用職員は3千万円の追加補正とあるが、実質的にはどのくらい増額となるのか。

答 総務課長

現在一般職員が132人います。給与、期末勤勉手当、その他負担金を含めて、2,920万円の増額です。また、会計年度任用職員は113人で、4,050万円の増額です。

問 藪之本議員

歳出のふるさと納税事務支援サービス委託料860万円の追加の内容を伺いたい。

答 企画財政課長

中間事業者を支払う委託

料です。この中間事業者が頑張るほど、ふるさと納税が増えている状況です。

問 亀井議員

歳出の小学校校体育館空調設備整備事業1億3,530万円の追加について、ガスヒートポンプを使うことが、アコン整備ということだが、設備の場所をかなり必要とする話を聞いたが、その辺の検討はしているのか。

答 教育委員会事務局長

確かにバルクタンクと室外機の間を必要としますが、もちろんそれを考慮した上で決定しています。

◆その他の議決議案

○町長、副町長及び教育長の諸給与条例の一部を改正する条例について
○議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について

○令和6年度板倉町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について

○令和6年度板倉町介護保険特別会計補正予算（第3号）について

優しい方々
豊かな自然を
楽しむために

はっとりともか
服部友香さん
(板倉中学校2年)



私が思う板倉町の好きなのは、自然が豊かなところ。私は板倉町の自然を楽しみながら家族でよく歩いてお出かけをします。また、登下校で自転車をよく使うので朝と夕方が変わる景色も楽しんでいます。その際に住人の方々が話しかけてくれる温かい雰囲気も私は大好きです。しかし、歩いて出かけたり、自転車に乗っていたりすると困るところがあります。それは道の整備が十分ではなく、段差が多かったり歩道が狭かったりすることです。母が夜歩いているときに転んだり、学校の友達が自転車に乗っているときに段差で転んだり、道が狭くて風に押されて田んぼに落ちたという話も聞いたことがあります。豊かな自然を楽しむことや登下校を安全にするためにもすべての道をすぐに改善することは難しいと思いますが、道の整備を行っていただければと思います。

いつまでも続く
板倉町

住み続けたい希望の持てる町

こじまかつよし
小島兆良さん
(大字岩田)



みんなの 声

昨年、板倉町が消滅可能性自治体であるというニュースがありました。この町で生まれ育った者として「消滅」は衝撃的な言葉で大変寂しいですが、小学校再編などから子供の数が減っている実感もあり、仕方ない流れなのかと思えます。私にとって、板倉町の穏やかな環境で子供を育てられたことはとても良い経験であったと言えるので、次の子育て世代の町民が少なくなっている今の状況は非常に残念です。しかし、我が子を含め若い人々には是非とも広い世界に出てさまざまな出会いを通し視野を広げて欲しいという願いもあります。進学や就職等で一度は板倉町を離れていった若者が、いつでも安心してUターンし家庭を持つ未来を描くことができ、年齢を重ねても住み続けたいという希望の持てる町づくりを町政に期待します。

編集委員の声

みなさん、ヒートショックというのをご存知でしょうか。昨年末に80年代のアイドルが、これが原因と思われる症状で旅立たれてしまいました。まだ50歳台の若さです。冬場の寒暖差の激しい場所に移動することで心臓に負担をかけて、血圧が上下に大きく変動することで、失神したり心筋梗塞や脳卒中といった血管の病気を引き起こす健康被害のことです。原因で多いのが、入浴する時や入浴中に意識が遠のく、お風呂から出た瞬間立ちくらみがするなど、ヒートショックの原因かも。入浴する前に脱衣所にヒーター、浴室をシャワーなどで温めてから入浴することを勧めます。今年の冬は一段と寒いからです。

(議会広報特別委員 尾澤将樹記)

『傍聴して町政を知る』

だれでも簡単にできます 議会傍聴

議会の本会議は公開制となっています。会議当日、受付票に記入していただくだけで、どなたでも自由に傍聴することができます。

◆3月議会定例会(予定)

- 会期** 3月6日(木)～3月19日(水)
議事 (1)条例改正などの議案審議・採決
(2)一般質問
(3)令和7年度当初予算審議・採決

※会期等が変更となる場合もあります。

※詳しい日程等については、後日議会のホームページでお知らせします。

お問い合わせ先

議会事務局 TEL.82-1111 (内線701)
TEL.82-6154 (直通)